

2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
申請及び採択状況

	応募件数	採択	採択率
音楽	5	4	80.0%
舞踊	6	6	100.0%
演劇	14	11	78.6%
大衆芸能	1	1	100.0%
その他	16	8	50.0%
年鑑・調査研究	15	13	86.7%
伝統芸能等	23	19	82.6%
合計	80	62	77.5%

2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業：採択団体一覧

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
1	音楽	-	公益財団法人 新国立劇場運営財団	オペラを活用した総合的人材育成公演 新国立劇場オペラ研修所 ①試演会「イオランタ」、②修了公演（演目未定）	【概要】新国立劇場における3年間の総合的なカリキュラムにより、プロフェッショナルなオペラ歌手へと育成。演出、デザイン、舞台監督等のスタッフを総合的に育成するための有料公演を実施。 ①試演会 2019年6月29日～30日（2回） ②修了公演 2020年2月28日～3月1日（3回） 【対象者】研修生及び修了生、若手公演スタッフ
2	音楽	-	公益財団法人 東京二期会	新進芸術家海外研修制度の成果「明日を担う音楽家による特別演奏会」	【概要】新進芸術家海外研修を修了した者の中から特に優れた新進音楽家を世に紹介することを目的に「明日を担う音楽家たち2019」を開催する。独奏者は、過去5年間程度の期間で留学・研鑽を積んだ者から、現状での活躍、将来性を勘案し、文化庁と協議して決定する。 ○演奏会 2020年3月5日 【対象者】文化庁新進芸術家海外研修制度研修修了者（音楽）
3	音楽	-	学校法人 東成学園（昭和音楽大学）	日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業	【概要】2018年度に実施したワークショップの育成対象者から選出された作曲家と台本作家のペア4組が、年10回のワークショップ（公開ワークショップ、作品構想発表会、試演会を含む）を実施しながら、ピアノ伴奏版のオペラを創作する。 公開ワークショップ作品 6月 構想発表会 9月 試演会 2020年2月 【対象者】2018年度育成対象者（公募により選ばれた作曲家、台本作家（若手～中堅、40歳前後まで））
4	音楽	-	公益社団法人 日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト ①リサイタル・シリーズ（札幌・東京・名古屋・京都・大阪・大分）②オーケストラ・シリーズ（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）③公開マスタークラス ④ジョイント・リサイタル	【概要】若手演奏家の育成を目的に、才能の発掘と演奏の場を提供する。 ①全国6都市におけるリサイタル・シリーズ 7月～2020年2月（20回） ②全国6都市におけるオーケストラ・シリーズ 12月～2020年3月（6回） ③トップクラスの演奏家を招いた公開マスタークラス 11月14日 ④ジョイント・リサイタル 12月19日 【対象者】若手演奏家（④文化庁新進芸術家海外研修制度研修修了者）
5	舞踊	-	キャメルアーツ株式会社	舞踊家育成公演及び舞踊ワークショップ&野外公演	【概要】世界に通用する舞踊の振付・演出家と高い技術を持つ舞踊家を育成することを目的とした舞踊家育成公演及び、芸術分野の枠を超えた人材を育成することを目的とした舞踊ワークショップ&野外公演を実施。 ①舞踊家育成公演（16回） 6月17日～23日、2020年3月2日～8日 ②舞踊ワークショップ&野外公演 7月26日～8月4日（公演8月3日） ③舞踊ワークショップ（基礎） 2020年1月11日～2月9日 【対象者】舞踊の振付・演出家、舞踊家
6	舞踊	-	一般社団法人 現代舞踊協会	現代舞踊新進芸術家育成Project	【概要】現代舞踊家へ作品発表の場を提供し、新しい才能の発掘、ダンステクニックと作品の質的向上を促し、現代舞踊新進芸術家の育成を支援する。 ①現代舞踊フェスティバル 8月23日 ②選抜新人舞踊公演 10月17日～18日 ③2019時代を創る現代舞踊公演 9月13、14日 ④新進舞踊家海外研修員による現代舞踊公演 12月25日～26日 ⑤パフォーミング・アーツの野外空間での実践と地域へのコミットメント 【対象者】現代舞踊家（振付家、ダンサー）
7	舞踊	-	特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク	コンテンポラリーダンス・プラットフォームを活用した振付家育成事業	【概要】国際性のあるトップレベルの振付家や地域の社会課題を視野に入れた活動を行う若手の振付家の養成、他の芸術分野との協働による表現活動の開発、コンテンポラリーダンスの創造環境の向上に寄与する人材の育成を目的に12のプラットフォームを形成し、各地でプロジェクトを実施。 【対象者】振付家
8	舞踊	-	公益財団法人 新国立劇場運営財団	①バレエ・アステラス2019 ～海外で活躍する日本人ダンサーを迎えて～ ②エトワールへの道程2020	【概要】①海外で活躍しながら日本の公演に出演する機会の少ない日本人ダンサーにその機会を提供し、新国立劇場バレエ研修所研修生等も参加するバレエ公演。②バレエ研修生の修了時公演（研修生成果の発表） ①バレエ・アステラス 8月3日～4日（2回） ②エトワールへの道程 2020年3月7日～8日（2回） 【対象者】海外で活躍する若手ダンサー、研修生及び修了生等
9	舞踊	-	公益社団法人 日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	【概要】バレエ芸術家が活動できる機会を提供することで、人材の技能・作品の質的向上、国際的評価に耐えうる新進バレエ芸術家の育成を促す。またバレエ環境の改善を目的とする。 ①全国合同バレエのタペ 8月10日、12日 ②全日本バレエ・コンクール 8月14日～18日 ③Balletクレーション 11月9日 【対象者】バレエ振付家、若手舞踊家
10	舞踊	-	一般社団法人 日本バレエ団連盟	新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成	【概要】海外優秀指導者による新進ダンサーの育成及び、海外事例調査によるバレエ団運営の基盤整備とマネジメント人材の育成。 ①マスタークラス 5月、8月、11月（公開レッスンも実施） ②マネジメント研修・ワークショップ 6月～7月、9月～10月、1月 ③マネジメント事例調査 5月～2020年1月 【対象者】日本バレエ団連盟に加盟するバレエ団員、付属研修所研修生、運営スタッフ等

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
11	演劇	-	特定非営利活動法人 愛知人形劇センター	P新人賞2019	【概要】人形劇分野の新たな人材の発掘と人形劇創造を目指す若手芸術家の育成を目的としたコンクールを開催。 一般公募 7～9月中旬 第一次選考会 10月 上演団体実技指導 12月～2020年2月上旬 最終選考上演会 2020年2月14日～16日 【対象者】人形劇家（年齢、経験、国籍、アマ・プロを問わず）
12	演劇	-	一般社団法人 沖縄県 芸能関連協議会	世界の児童青少年演劇を知る	【概要】児童青少年演劇の新進の芸術家を対象に、世界各地の児童青少年演劇を代表する芸術家によるワークショップや共同制作、セミナープログラムなどの実践的な学びの機会を提供する。 ①ワークショップ 7月23日～29日 ②セミナープログラム 2回 【対象者】児童青少年演劇に関わる芸術家（俳優、演出家、音楽家等）
13	演劇	-	公益財団法人 新国立 劇場運営財団	新国立劇場演劇研修所公演 ①第13 期生試演会（演目未定）、②第13期 生修了公演（演目未定）	【概要】新国立劇場演劇研修所の研鑽の成果を発表する実践の場を提供し、プロフェッショナル演劇俳優としての自覚を養うとともに、次代を担い、日本の演劇界を支えていく俳優を育成する。 ①試演会 10月25日～30日（6回） ②修了公演 2020年2月21日～26日（6回） 【対象者】演劇研修所研修生及び修了生
14	演劇	-	一般社団法人 全国専 門人形劇団協議会	専門人形劇演技者育成講座2019～2020	【概要】人形劇の発展をけん引している講師による講座を開催することで、次代の人形劇分野を形成する優秀な人材を育成する。 14講座（全17回）東京、神奈川、愛知、京都、大阪、香川にて開催 開催時期 7月～2020年2月 【対象者】経験15年以下の新進専門人形劇演技者
15	演劇	-	社会福祉法人 トット 基金 日本ろう者劇団	次代を担うろう者の新進芸術家育成事 業2019	【概要】手話狂言の次代を担う演者の発掘と育成及び手話弁士の育成、ろう者のアーティストの育成を目的に、学びの場を提供し、表現者としてのレベルアップをはかる。また、ろう児対象の演劇ワークショップ及びろう者対象の演劇スタートワーク基礎講座を実施する。 ワークショップ 5月～2020年2月 スタートワーク基礎講座 9月～12月 【対象者】ろう者のアーティスト（手話狂言、手話弁士）
16	演劇	-	一般社団法人 日本演 出者協会	【次代の若手演出家育成事業】①演出 家・俳優養成セミナー2019 演劇大学 ②国際演劇交流セミナー2019 ③日本 の戯曲研修セミナー2019 ④若手演出 家コンクール2019	【概要】日本各地にて演劇文化を深め広げるため、セミナー等を開催する。 ①演劇大学（徳島9月、沖縄11月、大分12月、秋田2020年1月） ②国際演劇交流セミナー及び年鑑作成 東京開催（フランス、イギリス） ③日本の戯曲研修セミナー（東京8月、福岡11月、大坂2月、名古屋2月） ④コンクール（若手演出家の発掘、審査を通しての育成等）公演3月 【対象者】若手演出家、俳優
17	演劇	-	一般社団法人 日本劇 作家協会	次代を担う劇作家を育成するためのプロ ジェクト	【概要】次代を担う新進の劇作家を育成するために、講座とドラマリーディングを連動させた総合的で実践的な事業を実施。東京、神奈川、大阪、九州、東北にて定期的なドラマリーディングのワークショップ、東京、大阪にてドラマリーディング発表会・研究会の開催ほか、個別指導の「研修課」、公開講座、「セリフの読み方」ワークショップを実施 通年 【対象者】新進劇作家
18	演劇	-	公益社団法人 日本劇 団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	【概要】芸術団体単独では企画の実現が難しい公演やワークショップを実施することにより、新進気鋭の演劇人にスキルアップの機会を提供し、演劇界を担う人材を育成する。『「日本の劇」戯曲賞 2020年2月』『海外研修（文化庁新進芸術家海外研修制度）の成果公演 2020年1月』『新進演劇人育成公演 10月、12月、2020年2月』『新進演劇人育成講座 5月～2020年1月』『演劇人交流育成公演 通年』 【対象者】将来有望な劇作家、演出家、俳優
19	演劇	-	日本児童・青少年演劇 劇団協同組合	次代の児童・青少年演劇人育成 連続 講座	【概要】次代の児童・青少年演劇実践者を育成するため講座を全国各地で全9講座17プログラム実施する。・脳科学から学ぶ子どものための舞台芸術 ・ベイビーシアターの普及のための上演『K U U K I』 ・劇作講座 ・ゲキミテトーク ・ベイビーシアター次世代育成ワークショップなど 【対象者】児童・青少年演劇に関わる演劇人又は興味のある人など
20	演劇	-	公益社団法人 日本児 童青少年演劇協会	児童青少年演劇「新進芸術家育成公 演」	【概要】ホールでの公演の機会を提供、また意欲的な新作を公演することで、新進俳優、劇作家・演出家の育成を図る。（児童青少年演劇団体の中から2劇団を選定。） ①人形劇団ひとみ座『うろんな客』『むしのほん』 2020年1月17日～19日 ②演劇集団遊玄社『地球のどこかで、いつだってー。』 2020年2月1日～2日 【対象者】ひとみ座新進俳優5名・演出家1名、遊玄社新進俳優2名・演出家1名
21	演劇	-	公益財団法人 舞台芸 術財団演劇人会議	世界をめざす劇場芸術家養成事業—利 賀演劇人コンクール（20周年記念開 催）	【概要】劇場文化と舞台芸術を担う時代の才能を発掘・支援し、作品創造に携わる演出家のみならず、作品を創造する集団や俳優、スタッフなどすべての能力向上を図り、芸術としての舞台芸術の発展に寄与する。今年度は、コンクールの20周年を記念公演を実施する。また参加者のうち優れた成果を上げたものを対象に研修を実施する。 上演審査時期：7月6～7日、公演8月～9月 【対象者】舞台創造分野での舞台芸術家（2グループ 30名程度）

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
22	大衆芸能	-	公益社団法人 落語芸術協会	若手落語家育成公演	【概要】大衆芸能の素晴らしさを未来永劫伝えていける、魅力的かつ創造性豊かな人材を育成する。 お江戸日本橋亭53公演、東村山土曜寄席5公演、羽村ゆとろぎホール4公演、児童対象公演（横浜にぎわい座7公演、浅草演芸ホール7公演、宮城県利府町内の学校3公演、広島福山地区3公演）、若手県宮古市2公演、九州地区～広島福山地区6公演、広島福山地区1公演 【対象者】若手落語家
23	その他	-	特定非営利活動法人 映画美術学校	映画・演劇を横断し活躍する俳優養成講座2019～演技を通じた新しいクリエイター創出を目的とする～	【概要】「映画と演劇」の表現の違いを俳優たちに意識させながら、双方の表現における演技の違いを体系的に理解させ、映画と演劇を往還できる新時代の俳優の育成を目的として、①「カメラに写し取られた」演技の考察と実践のワークショップ、②第一線の映画監督と舞台演出家による演技の指導、様々な演出家の元で経験を積み海外でも活躍する俳優による演技の指導等連携して実施。①4～9月（講義12回）②9月～2020年3月（講義88回程度） 【対象者】①昨年度本事業修了生 ②18歳以上（職業・経験年数不問）
24	その他	-	特定非営利活動法人 Explat	舞台芸術のアートマネジメント専門人材の育成と労働環境を考えるシンポジウム～統計・調査から分かる労働環境とこれから必要な人材育成2019～	【概要】現在の舞台芸術のアートマネジメント専門人材が置かれている状況を把握し、東京と大坂の2都市でこれから必要なアートマネジメント専門人材育成について労働環境や人材育成を考えるためのシンポジウムを行う。また、シンポジウムまでの期間に労働環境等調査を行う。 ①東京 2020年2月初旬 ②大坂 2020年2月中旬 【対象者】舞台芸術のアートマネジメント専門人材
25	その他	-	一般社団法人 コミュニティシネマセンター	映像アートマネージャー育成のためのワークショップシリーズ2019	【概要】映画映像を軸に、地域の文化事業を担う人材を育成することを目的に、シンポジウム「全国コミュニティシネマ会議」（9月）や、「上映者のためのワークショップ」、フィルムでの上映環境を保持するための情報提供やネットワークづくりを目的とした「Fシネマ・プロジェクト」、東北太平洋沿岸地域で映画上映の場を作り、映画文化拠点づくりを支援する「アートマネジメント・ワークショップ・イン東北」（7月～2020年3月）の4プログラムを実施。 【対象者】地域の映画映像事業に携わる若手スタッフ等
26	その他	-	協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会	明日を拓く映画美術スタッフ育成プロジェクト2019「映画美術スタッフ塾」	【概要】「映画美術スタッフ塾」では、実践的な育成教育として、短編シナリオの読了、登場人物の多面的な分析、セットデザインの作成、大道具技法の実習体験、装飾・小道具品の飾り実習、セットのVTR撮影などを実施する。また、優秀な受講生（卒業生）は美術監督担当作品に研修者として参加する。 【対象者】映像関係を学ぶ大学生、専門学校生、社会人（経験年数不問）
27	その他	-	公益社団法人 日本照明家協会	舞台・テレビジョンのための新進照明家育成公開講座（中央講座）	【概要】「創造と技術」をテーマに「深い知識・教養」と「高い技術」を追求する人材育成を目的とし、高度な技術を持つ上級者のための「中央講座」を実施する。10月頃から受講者募集開始。北海道、東京、静岡、北陸、中国地域の5か所を予定。各会場で連続3日間、1日4～5コマ、1コマ90分、計12コマ。 【対象者】照明技術者技能検定2級を取得後3年以上または照明実務経験5年以上の照明家の中で特に優れた者（各会場10～20人程度を公募）
28	その他	-	学校法人 日本大学	大学連携による映画人育成のための上映会 S.T.E.P.	【概要】映画教育を行っている15大学が会した全国映画教育協議会が中心となり、映画関連団体などと連携して若手映画人の作品を一般映画館で公開する。プロの講師による講評会、観客によるアンケート等による作品の評価を通じて若手映画人のステップアップを促すとともに、優れた若手映画人を世に送り出すことに寄与する。 【対象者】全国映画教育協議会参加校を中心とする学生及び卒業生、映画祭などの受賞作品の制作関係者で経験年数10年以内の者
29	その他	-	公益社団法人 日本舞台音響家協会	舞台音響家のための公開講座	【概要】舞台音響技術の向上を目的に、初期教育としての「基礎コース」（1回実施）、高度な教育としての「技術コース」（1回実施、3日）、演劇音響分野における専門育成としての「演劇コース」（2会場各1回、各2日）、一つの研究テーマを設けて掘り下げていく「研究コース」（1回実施、1日）の4つの講座を実施。公共の劇場もしくは教育機関が所有する収容人数300～700名程度のホールを予定。 【対象者】舞台音響家を目指す学生、舞台音響作業経験者及び一般
30	その他	-	一般社団法人 舞台技術者連合	舞台技術者のための横断的総合研修「基礎」「中級」「上級」	【概要】専門的人材の育成・確保及び資質の向上のため、基礎知識を扱う「基礎」、舞台技術専門員を養成する「中級」、高度な知見や総括能力を有した舞台技術上級専門員を育成する「上級」の3段階の総合研修を実施 ①「基礎」 6～9月 各3講義 仙台、広島、福岡 ②「中級A」 8月の連続した2日間、各日4講義 東京 ③「中級B」 6月～9月の各1日 北海道、関西、中部 ④「上級」 2020年2月の連続した2日間、各日4講義 東京 【対象者】舞台技術者・会館職員・劇場及び舞台関係者全般
31	年鑑・調査研究	音楽	学校法人 東成学園（昭和音楽大学）	『日本のオペラ年鑑2018』編纂・刊行事業	【概要】日本のオペラ界の状況の総合的な把握を可能にすることを目的に、2018年一年間に行われた我が国のオペラ公演に関する定量的な分析、主要な公演を概観する記事とともに、時事的な問題あるいは我が国のオペラ界が抱える課題に関する特集記事を掲載した『日本のオペラ年鑑2018』を編纂・刊行する。また、公演情報を中心にWEBで公開する。 【作製：1500部】
32	年鑑・調査研究	音楽	公益社団法人 日本演奏連盟	演奏年鑑2020 - 音楽資料（通巻第46号）	【概要】我が国のクラシック音楽界の動向を研究するとともに最新の音楽資料の収集、後世に残る貴重な資料に資するため、全国各地の音楽ホールで開催されているクラシックの演奏会を調査、記録し、数値データに表すほか、コンクールや講習会、奨学金制度、音楽関係者名簿等の情報も掲載する。WEB上での公開も積極的に進める。 【作製：1500部】

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
33	年鑑・調査研究	音楽	公益社団法人 日本オーケストラ連盟	日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2019	【概要】文化芸術活動に携わる者が今後の日本の文化の方向性を研究する際に役立ち、オーケストラの課題を把握することを目指し、各年度ごとの各オーケストラ活動の状況、経営の状態などが多角的に記載された年鑑を編集・刊行する。また年鑑の情報を日本オーケストラ連盟ホームページ上で公開する。 【作製：3000部】
34	年鑑・調査研究	舞踊	一般社団法人 現代舞踊協会	「舞踊公演アーカイブ事業《舞踊年鑑2019と舞踊公演データベース》	【概要】舞踊家のみならず研究者やマスコミ等の利用に供することを目的に、年間における我が国の舞踊分野の舞台活動について可能な限り正確な公演情報を収集・調査・整理し、データベース化してWEB上で公開するとともに、「舞踊年鑑2018」を発行する。 【作製：1000部】
35	年鑑・調査研究	演劇	公益社団法人 国際演劇協会日本センター	「国際演劇年鑑」（日本編・海外編）の編集と発行	【概要】日本と海外との演劇交流を促進するための知識基盤を形成するとともに、現場の演劇交流の多様なチャンネルを確保し拡大するために、「日本編」と「海外編」二分冊で「国際演劇年鑑」を発行する。「日本編」では日本の演劇状況をジャンルごとに英語で紹介、「海外編」では海外各国・地域（20～25か国前後）の演劇事情を日本の読者に対して紹介する。 【作製：英語版1050部・日本語版1050部】
36	年鑑・調査研究	演劇	特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター	「19 日本の人形劇」の発行	【概要】全国の人形劇団、伝統人形劇伝承団体、人形劇関連団体約200団体からの情報をもとに、日本全国の伝統人形劇、現代人形劇の1年間の活動状況を詳細に記録し、「19 日本の人形劇」を発行し、WEB上でも公開する。また人形劇創造を目指す若手芸術家の育成に資することを目的に、ウニマ（国際人形劇連盟）の協力により、主にヨーロッパを中心とした国々の人形劇事情を提供する。 【作製：700部】
37	年鑑・調査研究	演劇	公益社団法人 日本演劇協会	「演劇年鑑」の作成	【概要】情報基盤を築き、演劇文化振興及び演劇人育成に資することを目的に、年間に上演される演劇作品の公演情報を通年収集し、整理、記録し、それらを刊行物として関係各方面に配布するとともに、WEB上でも公開する。 【作製：530部】
38	年鑑・調査研究	演劇	一般社団法人 日本劇作家協会	現代日本の劇作（英語）	【概要】日本の現代戯曲を英語に翻訳して海外に紹介（国内外の劇場や演劇関係者などに配布）し、海外での日本現代劇の上演といった、演劇の国際交流のより深い可能性を生み出し、ひいては日本の現代の芸術文化の生き生きとした動きを海外に伝えることに寄与する。（翻訳作品は3作品を選定） 【作製：300部】
39	年鑑・調査研究	その他	一般社団法人 アート東京	日本のアート産業市場規模の推計に係る調査2019	【概要】アート関連事業に関わる者が役立てることができる基礎情報となることを目指し、日本のアート産業市場に焦点を当て、関連データを整備し、調査結果をレポートと併せ分かりやすく可視化し、国内外に広く発信する。主にインターネットアンケートにより、日本のアート市場規模の数値を推計する。 【作製：25000部】
40	年鑑・調査研究	その他	公益社団法人 企業メセナ協議会	民間のメセナ活動および国内外の芸術・文化振興に関わる調査研究	【概要】日本の企業メセナの実態を継続的に調査、現代の社会創造に貢献する企業メセナを把握し「Mecenat Report2019」にまとめ、国内外へ発信する。また「メセナ・アソシエイト」、「メセナ・ライター」事業において、外部の若手研究者や、アートマネージャー、民間企業人等を募り、芸術文化の専門的知識のみならず、企業からの視点を併せ持つ人材を育成するとともに、事例研究、レポートはWEB上で公開する。 【作製：3000部】
41	年鑑・調査研究	その他	一般社団法人 コミュニティシネマセンター	「映画上映活動年鑑 2019」の作成	【概要】映画の「興行」（及び配給）の動向に関する既存のデータや情報を活用しながら、これに映画祭や公共ホールでの上映等（公共上映）の新しいデータを加えて、より幅広い視点から地域における映画の「上映」をとらえ、データを収集し、2019年の映画上映の状況を分析し「映画上映活動年鑑2019」を作成するとともに、WEB上でも主要部分を公開する。 【作製：300部】
42	年鑑・調査研究	その他	公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会	芸能実演家・スタッフの活動と生活実態調査	【概要】芸能実演家の創造現場の環境改善をはじめとする文化芸術振興、文化産業の育成・発展にかかる政策および施策の改善と充実に資することを目的とし、実演家・スタッフ等の活動状況と生活実態を把握し、活動の特徴と課題を調査する。本調査は5年ごとに実施しており、時代の状況変化による影響を分析する。調査結果は冊子の作製と合わせて、WEB上でも公開する。 【作製：350部】
43	年鑑・調査研究	その他	協同組合 日本シナリオ作家協会	18年鑑代表シナリオ集（2019年発行）	【概要】シナリオ作家、映画監督、プロデューサー、撮影監督、美術監督、録音、編集、照明、スクリーンライター、俳優など映画製作に携わろうとするすべての新進映画人を育成することを目的に、前年を代表する優れた邦画のシナリオを10篇程度収録する「年鑑代表シナリオ集」を出版する。 【作製：200部】

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
44	伝統 芸能等	-	浮世絵木版画彫摺技術 保存協会	浮世絵木版画歌川広重「木曾路之山 川」3枚続きの摺りの研修	【概要】浮世絵木版の風景画の中で、より複雑で難易度の高い、複数枚続き絵の技術を を伝承する後継者を育てることを目的とし、熟練した技術者のもとでよりハイレベルな 摺りの技術を習得する研修を行う。 研修期間 6月～2020年3月 【対象者】浮世絵木版の風景画の基本的な摺りの技術を習得した摺師3名程度
45	伝統 芸能等	-	一般社団法人 義太夫 協会	義太夫教室	【概要】将来の義太夫節分野を担う芸員の養成、聴衆の増大、義太夫節の音楽的、学 術的理解の向上をはかり、伝統芸能に対する興味関心を持つ人材を育てることを目的と し、「入門コース」と「実践コース」の教室を実施し、最後に発表会を行う。 ①入門コース 全15回 4月～7月 ②実践コース 全27回 9月～2020年3月 ③発表会 2020年3月 【対象者】一般（経験・年齢・性別・職業・国籍不問）
46	伝統 芸能等	-	一般社団法人 国宝修 理装演師連盟	文化財修理に用いられる紙の繊維検査 方法に関する研修	【概要】国内で唯一の文化財に特化した繊維検査が可能な高知県立紙産業技術センター において、専門家から最新の繊維組成検査方法を学び、集中して多数のサンプルを検査 することで、より高度で精度の高い分析力を身につける研修を実施する。また、研修生 の所属攻防により現場に適した方法等の実習を行う。 前半：技術センター 5日間 後半：研修生の所属工房 各半日 【対象者】紙の繊維分析の経験年数が10年程度の者3名程度
47	伝統 芸能等	-	一般社団法人 国宝修 理装演師連盟	伝統的手漉き紙の技術理解および文化 財修理への応用に関する研修	【概要】補修紙作製の選定保存技術保持者を講師として招き、楮の刈り取りと行った原 料調整から抄紙まで伝統的な製法の一連の工程を実習する研修を行う。 前半：紙漉きの実習 5日間 後半：原料調整の実習 5日間 【対象者】文化財修理技術者のうち経験年数が5年程度の者
48	伝統 芸能等	-	公益社団法人 鏡仙会	能・狂言鑑賞と教え方講座－能・狂言 の授業をするために－	【概要】小中学校の教員が実際の授業において能狂言について教えることが出来るよう になることを目的として、能楽についての講義・鑑賞・体験を含んだ総合的な講座を行 う。 講座 8月18日～19日 体験実習 8月20日 東京 【対象者】小中学校の教員、教育関係者、教職課程の学生
49	伝統 芸能等	-	一般社団法人 伝統歌 舞伎保存会	小学生のための歌舞伎体験教室	【概要】歌舞伎愛好者の裾野拡大、人材確保につなげることを目的として、小学生とそ の保護者を対象に歌舞伎の鑑賞、舞台機構の体験、ワークショップ、演技の実演などの 教室を段階的な3つのプログラムで開催する。 ①鑑賞教室＋舞台機構の体験 小学1～6年生200名とその保護者 7月 ②歌舞伎ワークショップ 小学4～6年生68名とその保護者 8月 ③歌舞伎体験教室 小学4～6年生68名 7月～8月 【対象者】小学生とその保護者
50	伝統 芸能等	-	伝統工芸木炭生産技術 保存会	伝統工芸用具・原材料制作技術研修会	【概要】刀工ならびに玉鋼製造、漆芸、金工分野において必要とされる木炭の製造技術 のさらなる向上及び、技術継承者の高齢化を打破する若手後継者の技術発展を目的と し、研修会を実施する。 ①製炭研修 6月～7月（7日間） 岩手県 ②築窯研修 11月（15日間） 静岡県 【対象者】伝統工芸木炭生産技術保存会会員及び研修会参加に求められる知識と実施経 験を有する者2名程度
51	伝統 芸能等	-	当道音楽保存会	平家（平家琵琶）伝承プロジェクト 研修と復元作業、および成果発表演奏 会	【概要】平家（平家琵琶）の普及をはかり、音楽作品としての『平家物語』を次代に伝 えていくことを目的とし、研修、廃絶曲の復元、成果発表演奏会を実施する。 ①体験入門研修 6回 通年 指導者研修 4回 通年 ②廃絶曲の復元 5月～2020年1月 ③成果発表演奏会 11月～2020年2月 【対象者】伝統音楽の演奏家を志す若手音楽家あるいは学生
52	伝統 芸能等	-	特定非営利活動法人 日本音楽集団	日本音楽集団 夏期講習会' 2019'	【概要】全国で活動する邦楽演奏者・演奏家を目指す若手、また教育者に向け、邦楽ア ンサンブルを習得する機会を提供する。 講習会 8月13日～14日 東京 【対象者】全国の邦楽演奏者（プロ、アマ、経験年数不問）各日35名程度
53	伝統 芸能等	-	特定非営利活動法人 日本瓦葺技能継承協会	伝統的瓦葺技能研修会	【概要】全国各地に残る文化財建造物等の伝統的瓦葺施工に従事しようとする瓦工事 技術者に対して講義・演習・見学・実習を行い、必要な技術の習得ならびに資質の向上 を図る。 ①棧瓦研修会 9月～11月 3日間×2回 ②移動研修会 10月 3日間 ③初級研修会 2月 4日間 【対象者】継続して伝統的瓦葺施工に従事する者
54	伝統 芸能等	-	公益社団法人 日本三 曲協会	三曲新進演奏家研修支援事業	【概要】歌唱を伴う箏・三絃と尺八による伝統音楽の継承・発展を目的とし、将来を担 う若手演奏家が流派や社中の枠を超えて自主的に研修する機会の提供を支援する。ま た、研修の成果を発表する機会を提供する。 ①研修 通年 ②成果発表会 12月 東京 【対象者】箏・三絃・尺八の演奏家

通番	部門	分野	団体名	事業名	事業概要
55	伝統 芸能等	-	公益財団法人 日本刀 文化振興協会	刀剣類の保存に関わる部分修復技術研 修会（研磨・白鞘・白銀）	【概要】 刀剣類の保存のための修復技術について重要無形文化財保持者等を講師に招き、分野別に教授し、後継人材を育成するための研修会を実施する。 研修会 6月16日～6月19日 静岡県 【対象者】 継続的に部分補修の技術研修を続けられ、かつ一定の技術を有する者
56	伝統 芸能等	-	公益社団法人 日本舞 踊協会	2020年各流派合同新春舞踊大会（2020 年の部分は元号が決まり次第元号に変更予定）	【概要】 新進の日本舞踊家を対象に、コンクール形式の舞踊大会を開催する。日頃の鍛錬の成果を発表する機会や、流派を超えて同じ舞台上で研鑽する機会は、日本舞踊界全体の活性化につながる役割を果たしている。 舞踊大会 2020年1月11日～12日 東京 【対象者】 50歳以下で、名取の資格を有する協会所属の日本舞踊家40名程度
57	伝統 芸能等	-	公益財団法人 日本民 謡協会	少年少女・青年層に対する民謡民舞育 成事業	【概要】 民謡民舞の演奏家を基礎から育成するとともに、更なる人材の確保を目的に技能や年齢等に応じて、演奏発表の機会を提供する。 ①少年少女全国大会 8月3日～4日 対象：幼児から中学生、模範演奏者 ②少年少女講習会 通年（月1回） 対象：幼児から中学生 ③青年講習会 通年（月1回） 対象：高校生から30歳程度 ④民謡SONIC 2020年2月～3月 対象高校生以上 【対象者】 上記年齢層の唄い手、踊り手、演奏家
58	伝統 芸能等	-	公益社団法人 能楽協 会	若鯨研究発表会「若鯨能」	【概要】 次世代を担う若手能楽師の技芸向上及びプロの舞台に出演できる能楽師を多く誕生させることを目的とし、ベテラン能楽師を講師とした合同稽古及び発表の場の機会を提供する。 ①合同稽古 4月～6月 ②公演 6月 【対象者】 能楽協会名古屋支部所属を中心とした若手能楽師及び会員の子弟
59	伝統 芸能等	-	公益社団法人 能楽協 会	能楽体験 教員セミナー	【概要】 教員自らが能楽体験し理解を深めることで、生きた知識として児童・生徒へ伝えることとなり、能楽の次世代への継承が確実なものとなることを目的とし、全国4都市でセミナーを開催する。 セミナー 12月～2020年1月 東京、京都、神奈川、兵庫 1回2時間30分程度 【対象者】 小中学校教員、教職課程の学生 各回35名程度
60	伝統 芸能等	-	公益社団法人 能楽協 会	さわってみよう能の世界	【概要】 小中学生を対象に能楽への興味・関心の高まりを期待し、将来舞台上で活躍することを志す人材の裾野の広がりを目的とし、全国8都市で体験型ワークショップ公演を実施する。 ワークショップ公演 7月～2020年3月 東京、愛知、富山、京都、大阪、兵庫、佐賀、新潟 各回2時間程度 【対象者】 小中学生 各回100名程度
61	伝統 芸能等	-	公益財団法人 文化財 建造物保存技術協会	文化財建造物修理技術者育成事業	【概要】 文化財建造物等の保存修理における特別な技法である社寺等古建築の軒廻りの納め方である規矩術の技法及び城郭建築の石積み技法を習得する実技研修を行い、後継者の育成及び人材確保を図る。 ①規矩研修 6月～2020年2月 ②石垣研修 6月～2020年2月 【対象者】 保存修理に携わる担当者
62	伝統 芸能等	-	文化財庭園保存技術者 協議会	文化財庭園保存技術者育成研修	【概要】 文化財庭園の保存管理を担う経験の少ない技術者に対して、地域の特色ある文化に触れながら、その地域の独特の技術を習得することを目的に、実技研修を行う。 ①研修 6月（9日間） ②シンポジウム 6月 【対象者】 庭園の一般知識とキャリアを持つ技術者や若手の造園技術者

次代の文化を創造する新進芸術家育成事業協力者会議委員一覧

音楽部門

伊東 信宏

中村 孝義

中村 真理

野川 美穂子

野平 一郎

舞踊部門

小野 晋司

楫屋 一之

菊丸 喜美子

桜井 多佳子

村山 久美子

演劇部門

小笠原 響

酒井 誠

嶋村 浩康

久野 敦子

渡辺 弘

大衆芸能部門

大友 浩

荻田 清

長井 好弘

古川 綾子

油井 雅和

その他部門

天野 太郎

井上 桂

太下 義之

栩木 章

本郷 寛

年鑑・調査研究部門

池田 恵巳

樽松 三郎

酒井 誠

長井 好弘

本郷 寛

伝統芸能等部門

飯島 満

奥山 けい子

神田 雅章

佐々木 正直

鈴木 英一

鳴海 祥博

林 まゆみ

(五十音順・敬称略)